

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会 感染症解析評価部会]
(平成13年4月解析分)

1 疾患別定点情報

定点把握(週報)四類感染症

平成13年3月分(2月26日~4月1日:5週間分)

疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	疾患No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1,721	2.89	3.10	▲	12	麻疹	170	0.45	0.29	▲
2	咽頭結膜熱	49	0.13	0.05	→	13	流行性耳下腺炎	510	1.36	0.90	↗
3	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	441	1.18	-	↘	14	急性出血性結膜炎	5	0.05	0.07	
4	感染性胃腸炎	3,764	10.04	6.61	↘	15	流行性角結膜炎	118	1.18	1.19	↗
5	水痘	669	1.78	1.59	→	16	急性脳炎	1	0.01	-	
6	手足口病	34	0.09	0.07	→	17	細菌性髄膜炎	0	-	0.01	
7	伝染性紅斑	156	0.42	0.23	↗	18	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.23	
8	突発性発疹	261	0.70	0.61	↘	19	マイコプラズマ肺炎	19	0.23	-	↗
9	百日咳	13	0.03	0.03		20	クラミジア肺炎	1	0.01	-	
10	風疹	6	0.02	0.70		21	成人麻疹	3	0.04	-	
11	ヘルパンギーナ	53	0.14	0.02	▲	「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)					

急増減	増減	微増減	横ばい
▲	▲	↗	→
▼	▼	↘	
前月と比較しておおむね1:2以上の増減	前月と比較しておおむね1:1.5~2の増減	前月と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減	殆ど増減なし(発生件数少数のものを含む)

定点について

定点情報は、定点把握対象の四類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について、県内186の定点医療機関からの報告を集計して作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD 定点	基幹定点	合計
対象疾患 No.	1	1~13	14, 15	22~25	16~21, 26~28	
定点数	44	75	20	26	21	186

この情報は、「<http://www.pref.hiroshima.jp/fukushi/kenkou/kansen/index.html>」のホームページに掲載しています。
全国情報については、「<http://idsc.nih.go.jp/>」に
インフルエンザホームページは、「<http://influenza-mhw.sfc.wide.ad.jp/>」に掲載されています。

定点把握（月報）四類感染症

平成13年3月分（3月1日～3月31日）

疾患 No	疾患名	月間発 生数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号	疾患 No	疾患名	月間発 生数	定点 当り	過去 5年 平均	発生 記号
22	性器クラミジア感 染症	76	0.26	1.41	↗	26	メチシリン耐性黄 色ブドウ球菌感染	107	5.10	-	↗
23	性器ヘルペスウイ ルス感染症	9	0.35	0.52		27	ペニシリン耐性肺 炎球菌感染症	25	1.19	-	↘
24	尖圭コンジローム	22	0.85	0.27	↗	28	薬剤耐性緑膿菌感 染症	13	0.62	-	
25	淋菌感染症	15	0.58	0.51	↘	「過去5年平均」：過去5年間の同時期平均 (定点当り)					

ヘルパンギーナ 急増（2月16件 3月53件）
麻疹 急増（2月57件 3月170件）

2 一類・二類・三類感染症及び全数把握四類感染症発生状況

一類感染症 発生なし

二類感染症 発生なし

三類感染症（腸管出血性大腸菌感染症） 6件発生（芸北地域保健所2件 O157，
広島市4件 O157）

全数把握四類感染症 3件発生（アメーバ赤痢2件，急性ウイルス性肝炎（A型）1件）

3 インフルエンザの予防について

・今冬のインフルエンザの発生状況

今冬はインフルエンザの発生が非常に少なく推移してきましたが，3月（2月26日～4月1日分の報告件数は，県内で1,721件（全国187,929件）と，2月分（県内576件，全国53,887件）と比べてかなり増加しています。

また，昨年3月分（2月28日～4月2日 県内488件，全国40,995件）と比較しても，かなり多くなっています。

例年，発生のピークは1月～2月ですが，今年はピークが少しずれてきているようですので，もう少しの間予防に気をつけましょう。